

105-264

問題文

リネゾリドをこの患者に使用する上での留意点として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 投与終了1～2時間後の血中濃度を測定する必要がある。
2. 効果不十分な場合は、点滴静注時間を15分に短くすることで効果を高めることができる。
3. 中等度腎障害のため、減量して投与する。
4. 骨髄抑制を起こすことがあるので、定期的に血液検査を行う。
5. 経口投与が可能な状態になったら、経口剤への切り替えを提案する。

解答

問264：5問265：4, 5

解説

問264

リネゾリドは、オキサゾリジノン系合成抗菌剤です。バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）及びメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）に対して抗菌力を有します。

リネゾリドの作用機序は、細菌のリボソームにおけるタンパク合成阻害です。リネゾリドはリボソームにおける30S-mRNA, 50Sリボソーム, 及びfMet-tRNAによって構成される70S開始複合体形成を阻害することによって細菌の増殖を阻害します。

以上より、正解は5です。

問265

選択肢1,3ですが

リネゾリドは、中程度までの肝機能障害及び程度によらず腎機能障害による薬物動態の変化は認められず、TDMや投与量の調節が不要と判断されています。

選択肢2ですが

このような用法で用いることはありません。

選択肢4,5は妥当な記述です。

リネゾリドの骨髄抑制作用について、週1回程度の定期的血液検査を行ってモニタリングします。他にも、まれに代謝性アシドーシス、低Na血症、偽膜性大腸炎などが知られており、注意が必要です。

以上より、正解は4,5です。